

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		自動発達支援・放課後等デイサービス Colorful Kids Second				公表日 2026年 3月 6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	適切である	余裕の持った支援が出来るようにしていく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	活動スペースの床はほとんど段差のない構造になっている	状況に応じて場所を区切り、子どもたちが安心できる環境を整えていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日使った玩具を含む部屋の隅々まで清掃・消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	スペースが限られる為、パーティションで仕切りを作りながら個別で対応出来るようにしている	今後も状況に応じ、一人一人に合った環境が整えられるようにしていく	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的に研修を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者評価表だけでなく、日々の支援の中で意見を反映し、業務改善を行っている	今後もより良い業務改善に努めていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的に業務改善を行っている	今後も意見を把握する機会を設け、業務改善に努めていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		現在、第三者による外部評価は行っていない為、その都度話し合いを繰り返し、業務改善に努めていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	1か月に1回の研修を行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	5領域に準じて作成し、HPに公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	その都度保護者の方から聞き取りを行っている	今後も保護者のニーズや課題に沿った計画を立案していく	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	毎月カンファレンスを行っている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	毎月カンファレンスを行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	保護者への聞き取りや、子どもの特性を考えた上で支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎月話し合いを行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	ニーズに合わせたプログラムを組んでいる	今後も様々なプログラムに挑戦出来る機会を提案できるようにしていく	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの特性を把握した上で計画を立て、支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	流れや役割等職員間で話し合うようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日振り返りを行い、次の支援に繋げられるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日報にその日の個々の様子を記録し、今後の支援に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的に行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	状況に応じ適任者が参加するようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	委託医と連携している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4		保護者を介して情報共有をする事はあるが、直接保育園等との共有は行っていない為、今後取り入れていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		相談支援員や保護者との連携はあるが、移行先への直接的な情報共有は行っていない為、今後取り入れていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		現在は連携を図る機会や研修を受ける機会が無い為、助言を受ける機会を設けていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		地域の子どもと関わる機会は公園遊びのみの為、今後増やせるようにしていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時やお帳面などで保護者と指導員間で伝え合うようにしている	今後もより密な情報共有を心掛けていく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		情報提供は行っているが、家族参加型の研修は行っていない為、今後の機会を見て取り入れていく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	内容をしっかり把握し、適任者が説明を行っている	指導員全員が内容を把握出来るようにしていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	事前に保護者のニーズや子どもの特性を聞き取り、意見を反映したサービスを提供出来るようにしている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	分かりやすい説明が出来るよう、内容をしっかりと把握し、丁寧に説明している	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	その都度対応し、話をする機会を設けている	今後もすぐに対応し、積極的に面談を行っていく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		昨年は参観日を開催したが、保護者同士の交流は出来ていない為、今後開催できるようにしていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		今後も迅速に対応出来るようにしていく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	毎月カレンダーを配布し、HPにも記載している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きの書庫に保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		必要に応じ筆談等を取り入れ、配慮を行えるようにしていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		機会を設ける事が出来ていない為、今後は視野に入れていく
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルの策定は出来ており、定期的に訓練を行っている
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPの策定は出来ており、定期的に訓練を行っている	マニュアルの内容を職員だけでなく、保護者にも周知出来るようにしていく
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	緊急連絡先にも記載があり、定期的に保護者からも情報提供を受けている	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	定期的に保護者からも情報提供を受け、アレルギー除去のおやつを提供している	今後も細心の注意を払い、確認した上で提供を行っていく
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全対策の策定は出来ており、定期的に訓練を行っている	全職員が内容を十分に把握出来るようにしていく
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	定期的に訓練を行っている	保護者への全体周知は出来ていない為、全員が把握できるように伝えていく
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	その都度共有し、再発防止に努めている	今後も子どもたちが安全に過ごせるように共有、再発防止に努めていく
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を行っている	今後も定期的に研修を行い、全員が対応出来るようにしていく
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	指針を作成しており、定期的に研修も行っている		